

# 下水道使用料の改定の必要性に関する検証及び経費回収率の向上に向けたロードマップ（瑞浪市）

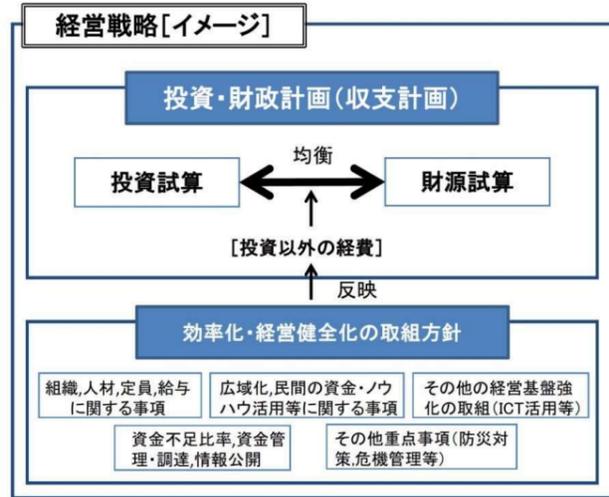
## 1. ロードマップの見直しにあたって

### (1) 瑞浪市下水道事業経営戦略について

公営企業については、保有する資産の老朽化に伴う大量改築期の到来や人口減少等に伴う使用料収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しており、不断の経営健全化の取組が求められます。

このような中、公営企業が安定的に継続することが可能となるように、今後10年間の基本計画である「経営戦略」を策定することを総務省から要請され、瑞浪市は平成28年に経営戦略を策定しました。

「経営戦略」の中心は投資試算と財源試算を構成要素とする「投資・財政計画」で、その概要イメージは右図の通り「収支均衡」を求めるもので、5年ごとに見直しを行い、戦略プランの達成状況の検証、「収支ギャップ」の解消に向けた取組等についても検証していきます。



### (2) 今回の見直しについて

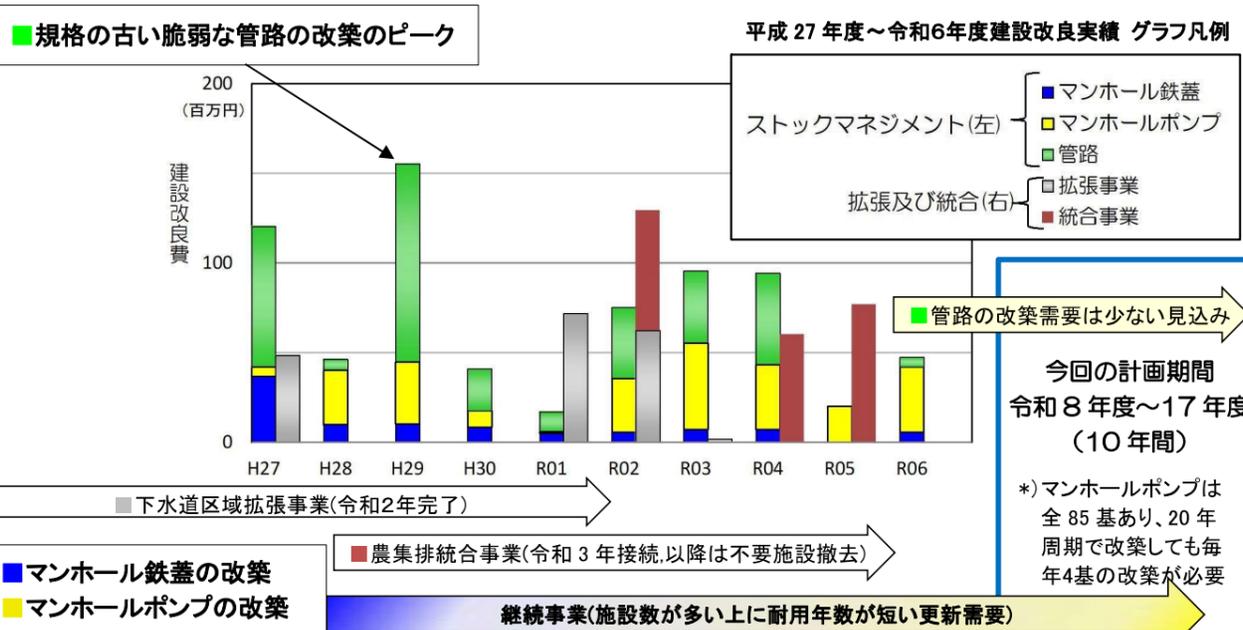
前回計画の策定から5年が経過し、見直しの時期を迎えていることから、以下の計画期間で見直しました。

経営戦略計画期間											
現経営戦略計画期間(H28~R7)						今回経営戦略計画期間(R8~17)					
H28	~	R2	R3	~	R7	R8	~	R12	R13	~	R17
策定		フォローアップ、見直し			見直し			フォローアップ、見直し			見直し

## 2. 下水道施設の概要と経営戦略期間中の改築更新需要

### (1) 管路施設

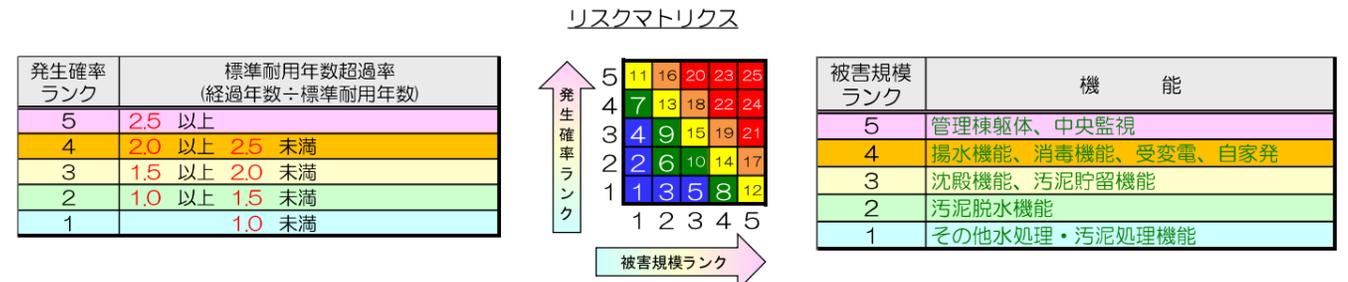
本市は「規格の古い脆弱な管路の改築」を終えており、現在は、点検・調査の結果より改築が必要とされる管路が出現していない状況です。管路に比べて寿命が短いマンホール鉄蓋とマンホールポンプの改築を継続していきます。参考寿命) 管路 50~120年、マンホール鉄蓋 15~45年、マンホールポンプ 15~30年



### (2) 処理場・ポンプ場施設

処理場・ポンプ場施設では、寿命を迎えた処理場の管理棟、自家発電機、中央監視装置の改築が必要ですが、その他の設備は継続使用していきます。

本市のストックマネジメントでは、処理場・ポンプ場の各施設に対しリスク評価を実施しています。下図のように経過年数と被害規模のリスクマトリクスによりスコアを算定します。



本市では直営で浄化センターを管理し、施設の改築時期を判定しています。リスクスコアの低い施設は他にもありますが、継続使用が可能と判定しております。

処理場施設 施設・設備名称	中分類	取得年度	経過年数	標準耐用年数	標準耐用年数超過率	R17時点		
						リスク		スコア
						被害規模	発生確率	
流入管渠	①管渠	S50	60	50	1.2	1	2	2
沈砂池	②躯体	S50	60	50	1.2	2	2	6
主ポンプ	③汚水ポンプ設備	S50	60	15	4.0	4	5	23
最初沈殿池	②躯体	S50	60	50	1.2	3	2	10
生物反応槽	②躯体	S50	60	50	1.2	4	2	14
送風機	④反応タンク設備	S50	60	15	4.0	4	5	23
凝集剤添加設備	⑤調質設備	S50	60	15	4.0	4	5	23
最終沈殿池	②躯体	S50	60	50	1.2	1	2	2
塩素混和池	②躯体	S50	60	50	1.2	4	2	14
放流渠	②躯体	S50	60	50	1.2	1	2	2
汚泥濃縮タンク	②躯体	S50	60	50	1.2	2	2	6
汚泥消化タンク	②躯体	S50	60	50	1.2	1	2	2
汚泥受入施設	②躯体	H29	18	50	0.4	1	1	1
汚泥混合タンク	②躯体	S50	60	50	1.2	2	2	6
汚泥洗浄タンク	②躯体	S50	60	50	1.2	2	2	6
汚泥脱水機	⑥汚泥脱水機	H13	34	15	2.3	2	4	13
汚泥前処理施設	②躯体	S50	60	50	1.2	1	2	2
第1汚水ポンプ室	②躯体	S50	60	50	1.2	4	2	14
第3汚水ポンプ室	②躯体	S50	60	50	1.2	4	2	14
管理棟	②躯体	S50	60	50	1.2	5	2	17
中央監視装置	中央監視	H24	23	10	2.3	5	4	24
脱水機棟	②躯体	S50	60	50	1.2	2	2	6
滅菌棟	②躯体	S50	60	50	1.2	4	2	14
脱臭機棟	②躯体	H24	23	50	0.5	2	1	3
受変電設備	受変電設備	H18	29	15	1.9	4	3	19
自家発電設備	自家発電設備	S50	60	15	4.0	4	5	23
汚水調整槽	②躯体	S50	60	50	1.2	1	2	2

●今回改築  
●今回改築  
●今回改築

本市では標準耐用年数の2倍を長寿命化の目標としています。しかし、管理棟は今回1.2倍の延命化で改築と判定しました。改築を早めですが、2倍以上の延命化を図る施設で相殺するよう施設ごとに適切な改築時期を判定していきます。

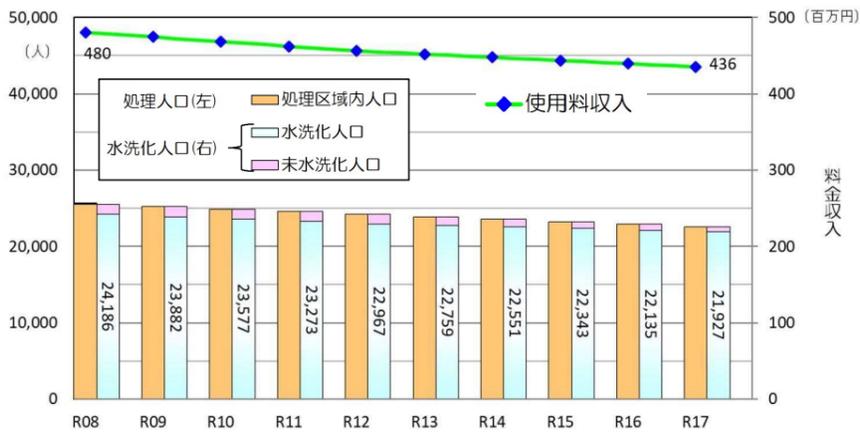


# 下水道使用料の改定の必要性に関する検証及び経費回収率の向上に向けたロードマップ（瑞浪市）

## 3. 将来の事業環境

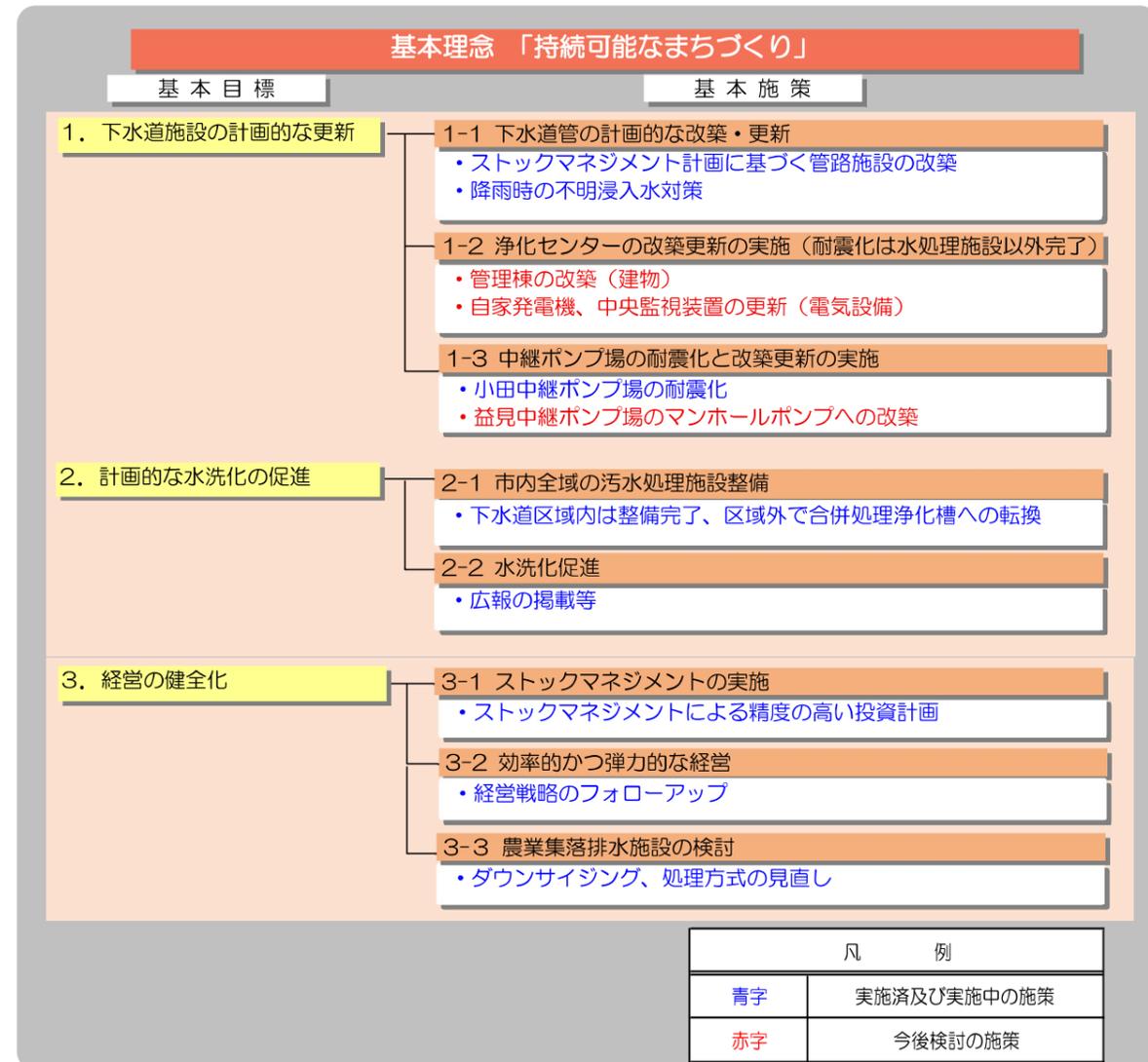
### ●使用料収入の見通し

本市の人口は減少傾向が続いており、下水道区域内の処理人口は、令和8年度の24,186人から令和17年度では21,927人と推定し、使用料収入を見込みました。



## 4. 目指すべき方向性

計画期間を令和6年度～令和15年度とする第7次瑞浪市総合計画では、都市基盤について「持続可能なまちづくり」を基本理念の一つに掲げています。その実現に向け、下水道事業では3つの基本目標に基づく施策を着実に推進していきます。老朽化対策と耐震化による災害に強い下水道施設の持続、市内全域で水洗化が進み、衛生的な生活を実感できるまちをめざします。



## 5. 投資・財政計画

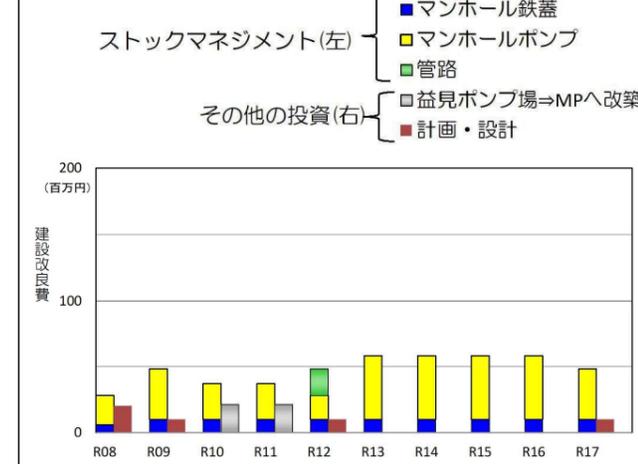
### (1) 事業計画

計画期間10年間において、約20億円の事業費を見込みます。

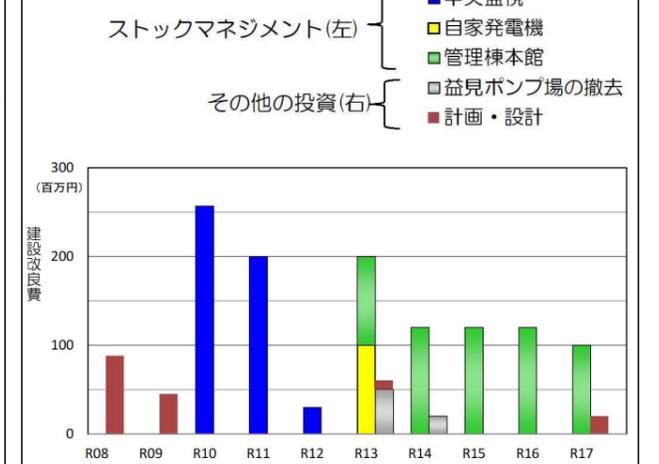
【建設改良費】 単位【千円】

項目	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R08～R17
ストック	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	480,000
マネジメント	88,000	45,000	257,000	200,000	30,000	260,000	140,000	120,000	120,000	120,000	1,380,000
その他	50,660	6,726	6,793	6,860	6,928	6,997	7,066	7,136	7,207	7,279	113,652
<b>合計</b>	<b>186,660</b>	<b>99,726</b>	<b>311,793</b>	<b>254,860</b>	<b>84,928</b>	<b>314,997</b>	<b>195,066</b>	<b>175,136</b>	<b>175,207</b>	<b>175,279</b>	<b>1,973,652</b>

### ■管路施設

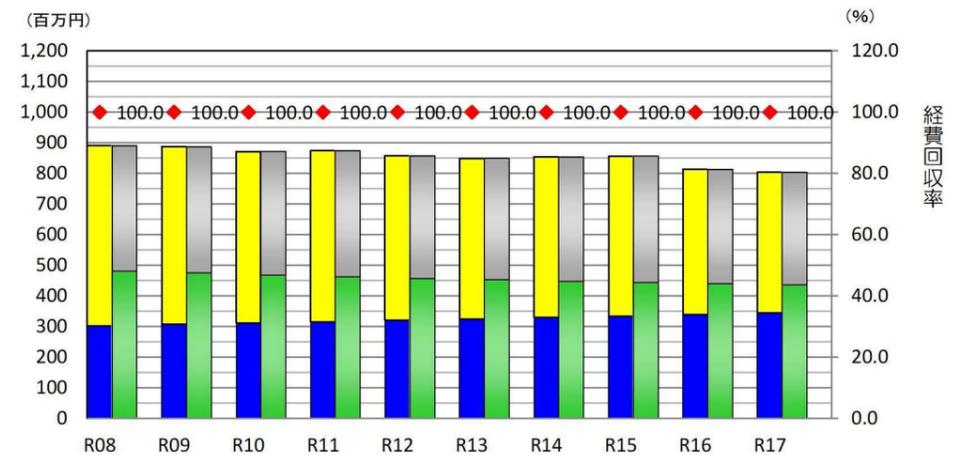
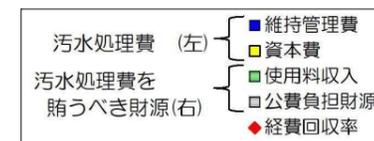


### ■処理場・ポンプ場施設



### (2) 事業の採算性・使用料検証

今回の計画期間中は、現行の使用料体系を維持できる見込みです。



### (3) 財政収支計画(内部留保資金)

内部留保資金は計画期間を通じて安定して確保できる見込みです。

